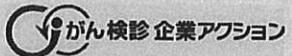


推進パートナー企業の自主的な啓発活動(チラシ)



第一生命

生涯設計ジャーナル

生涯設計

あなたと家族を『がん』から守る

～「がん」の予防・発見から治療まで～

(財)日本がん協会会長／国立がんセンター名譽院長 堀添忠生

Point 1 がん予防のために

がんの予防のために

① たばこを吸わない

② アルコールは控えめに

③ 運動をして肥満を防ぐ

④ 塩分を控えて、野菜・果物を取る

がんの原因は…

たばこ(喫煙)が30%

飲酒が25%

ワイルド・細胞などの遺伝が10%

つまり

75%は、喫煙や生活習慣

によるものです!

Point 2 早期発見は重要、だから検診を受けましょう!

がんは体内で気づかないうちに発生していく病気で、早い段階では全く無症状です。

この時に検診でがんを見つけることができれば、簡単に治療でき、社会復帰も早くなります。そのために、がん検診は最も重要な方法です。

検診の方法・癌の指標は…もとづくのがん検診

胃がん 胃の検査(二重造影法)

内視鏡検査(胃内鏡検査)

大腸がん 便潜血検査

糞便潜血検査

肺がん 胸部X線検査(健常者のみ)

の使用

乳がん マンモグラフィと視触診の併用

厚生労働省「がんの早期発見と対応に関する実施方針」(平成18年4月)

ステージ別生存率の経年変化、胃がんの場合

胃がんスクリーニングと相生存率*

ステージ I	99.0 %
ステージ II	75.3 %
ステージ III	48.9 %
ステージ IV	7.8 %

*胃がんスクリーニングによる生存率を計算したときの生存率と、胃がんの早期発見による生存率を比較して算出したものです。(胃がんの早期発見率は、約5割程度)(平成18年4月)

近年話題となっているPET検査

PET検査にかかる費用は高いが、がんがないかぎりあります。通常の検査によるPET検査を組み合わせることで

がんの検出率が上がります。

がんの早期発見には、PET検査が有効ですが、これが

がんの早期発見の費用が高い、つまりコストパフォーマンスの問題があります。

がんの早期発見には、PET検査と併用する検査が

あります。PET検査と併用する検査は、がんの早期発見

と早期治療につながります。

がんの早期発見は、がんの早期治療につながります。

Point 3 がん治療も進歩しています！ ～たとえば放射線治療の場合～

放射線治療は、がんの治療方法の一つです。

この放射線治療についても、がんの部分に放射線を当てる技術

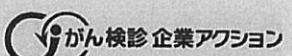
と照射の効果を高めるよう道具や機器が発達してきており、

「電子線治療」「重粒子線治療」といった、従来の放射線治療の

精度をさらに高めた治療法もあります。

国立がんセンター等子線治療室

マスコミへの情報提供によるパブリシティ効果の向上



マスコミ関係者を招いたメディアセミナー

日 時：2009年12月9日（水）
場 所：東京會館
参加人数：36社 52名



全国地方新聞社東京支社長との意見交換会

地方新聞社東京支社長の方々に本事業の説明・意見交換を実施

日 時：2010年1月19日(火)
場 所：共同通信社
参加人数：41社42名